

— 特 許 記 事 —

最近の鉄鋼業界における発明

特許出願公告 (昭和 31—10—22)

- | 公告番号 | 発 明 の 名 称 | (発明者) | 出願人 |
|-----------|---|----------|-----------|
| 昭 31—9005 | 堅型製鉄炉における溶鉄の温度調節法
水、水蒸気、窒素または炭酸ガスの1もしくは1以上を堅型製鉄炉の傾斜羽口を通し炉内湯溜内銻銑中に直接圧入する方法。 | (金森九郎) | 八幡製鉄 K.K. |
| 昭 31—9007 | 強靱鑄鉄の製造法
SiO_2 または Al_2O_3 の1種または両者の混合物、化合物と炭素、珪素、アルミニウムの1種または1種以上とを含む銻滓を以て銻解炉中において、C 2.0% 以上、Si 0.8% 以上または C 1.2~1.7%、Si 1.0~3.5% の鑄鉄を銻湯、銻滓接觸面で銻滓各成分が均一の状態還元精錬するようにした方法。 | (本間正雄外1) | 金属材料研究所長 |
| 昭 31—9008 | チタン含有により微細破面を有する鑄物用銻鉄の改善法
チタン含有のため、微細破面を示し、収縮量の多い鑄物銻をその銻湯中に珪酸粉と窒素ガスを同時に吹込む方法。 | (恵藤文二) | 富士製鉄 K.K. |
| 昭 31—9009 | 18-8 ステンレス鋼の製造法
低炭素高珪素ニッケル鉄合金と低炭素高珪素クロム鉄合金とを脱珪素後において、Cr 約 18%、Ni 約 8% となる割合に配合し之に鉄鉱石を加え脱珪素作業を行う方法。 | (堀居太郎) | 同 人 |
| 昭 31—9012 | 衣 造 塊 用 衣 剤
SiO_2 - Al_2O_3 - CaO の3成分系の百分率の組成において SiO_2 50~75%、 Al_2O_3 10~30%、CaO 15~35% の界域を主剤とし、これに MnO 、 $\text{Na}_2\text{O}+\text{K}_2\text{O}$ および B_2O_3 の1種または2種以上を個々の添加剤の量が該主剤に対して30%を超えぬ範囲で該主剤に対して5~80%添加してなり、且つ不純物を衣剤全成分中10%以下としたもの。 | (錦織清治) | 大同製鋼 K.K. |

特許出願公告 (昭和 31—11—2)

- | | | | |
|-----------|--|-----------|------------|
| 昭 31—9354 | 製鉄原料の脱銅方法
単独使用不能の含銅製鉄原料を10メッシュ以下に粉碎し、硫酸第2鉄を5%以上含む弱酸性溶液を鉱石2に対し1重量比以上使用し銅分を抽出除去し、濾液に計算量の硫酸第2鉄を加え繰返し之を使用し脱銅能率が低下した時に鉄粉を投入置換せしめ銅を回収しまた溶液中の硫酸第1鉄の含有量が漸増し常温で析出するようになった時に溶液を冷却して結晶を析出させて回収する方法。 | (山崎寛三) | 山形 章 |
| 昭 31—9355 | 強靱鑄鉄の製造法
装入原材料(銻鉄、銻屑、鋼屑等)にその重量の5~10%に相当する炭素を混じたものを電気炉精錬するに当り1回若くは数回に分ち総量として上記装入原材料の重量の10~22%に相当する過剰な石灰石を供給する脱酸工程を含む方法。 | (鈴木一郎外1) | 三菱電機 K.K. |
| 昭 31—9361 | シエルモールド製造機
サンドレジンを滞留枠を、固定的に金型盤を進退可動的に取付けた回転盤上に、加熱装置と噴気装置とを、盤上で単独で滞留枠と全型盤との中間部に進退できるように取付けたもの。 | (加治慶之助) | K.K. 名機製作所 |
| 昭 31—9363 | 排 気 鑄 造 法
(略) | (海老原敬吉外3) | K.K. 科学研究所 |